

ULTIMATE

2013



~フライングディスクのメジャー種目~
アルティメット公式ガイド

フライングディスクの起源と歴史

フライングディスクの起源は、1940年代に、アメリカ合衆国コネチカット州にあるエール大学の学生が、キャンパス近くの「フリスビー・パイ」というパイ屋のパイ皿を投げて遊んだことが始まりだと言われています。そして、そのパイ皿を投げて遊ぶ姿を見たウォルター・フレデリック・モリソンが、1948年にプラスティック製ディスクを作ったのが始まりです。その後、製造・販売の権利をモリソンから取得したワーム・オー(Wham-O)社が1959年に"Friscbee"の名称を登録商標として売り出したことから世界中に広まりました。最初は玩具として扱われましたが、優れた飛行特性を活かした競技が次々に生み出され、10種目とプラスティック製ディスクを総称する一般名称「フライングディスク」として1983年に制定されました。材質や形状に改良が重ねられた現在のフライングディスクの飛行性能は、最長飛距離「255m」最高時速「時速140km」、最長滞空時間「16.72秒」と非常に優れたものとして各国で親しまれています。世界フライングディスク連盟が公認するアルティメットの国際大会や日本国内大会では、直径27cm、重さ175gのフライングディスクを公式採用しています。



※フリスビー・パイのパイ皿



※Japan Ultimate 公認ディスク

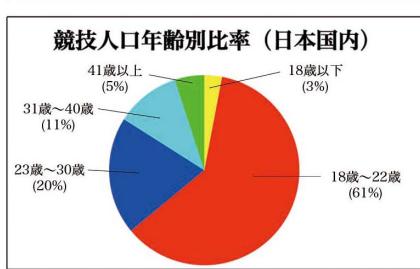
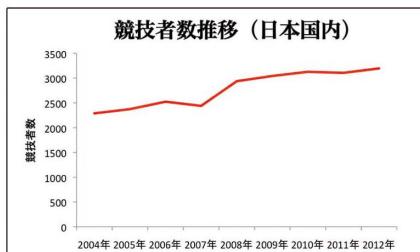
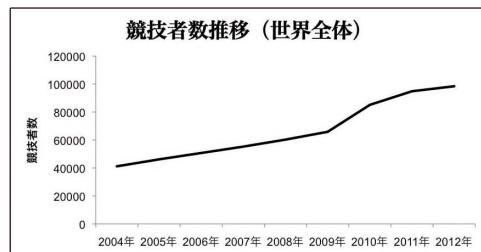
究極の競技“アルティメット”

ULTIMATE



アルティメットは、英語で「究極」という意味を持ちます。1968年にジョエル・シルバーが考案し、アメリカ合衆国ニュージャージー州メイプルウッド市のコロンビア高校で最初のゲームが行われた7人制のチームスポーツで、フライングディスクを落とさず味方につなぎ、コート両端のエンドゾーン（ゴールエリア）内で味方のパスをキャッチすれば得点となるアメリカンフットボールのショットガンプレーに似たスポーツです。他の球技にはないディスクの飛行特性や走力、持久力を必要とすることから文字通り究極(Ultimate)という名前が付けされました。プラスティック製のディスクは、風に乗りやすい性質を持っており、100m近くも飛ぶ「ロングシュート」やカーブやストレートスローを使った「華麗なパスワーク」が繰り広げられます。また、風に乗ったディスクを「ダイビングキャッチ」でつかむ瞬間、敵チームのパスをインテセプトする「ダイビングブロック」など、ダイナミックなプレーが魅力のスポーツです。

世界と日本における競技人口

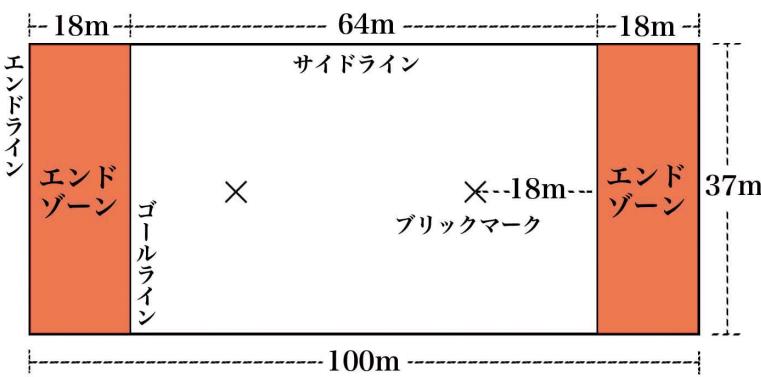


世界フライングディスク連盟(WFDF)には2013年現在で5大陸56ヶ国と地域が加盟しており、アルティメットは世界各地で親しまれるスポーツに成長しています。全世界における競技人口は10万人、この10年間でおよそ2倍になっています。日本における競技者数は約3,000人。そのうちの2,000人が大学生であり、大学からでも始めることができるスポーツとして国内60校に渡り、男女合わせて100チームを超える大学生が夢中になっています。2012年度から中学校学習指導要領(保健体育)にゴール型種目の例に挙げられ、フライングディスクの代表的な種目としてユース世代へ急速に普及しています。

データ出典 World Flying Disc Federation Census (2004-2012)

究極

アルティメットのルール



各7人からなる2チームが100m×37mのフィールド上でディスクをパスによって運び、敵陣エンドゾーン内で味方からのパスをキャッチすると得点（1点）となります。試合は得点制で競われ、国際標準では17点を先取したチームの勝利となります（国内大会では運営上の都合から50分ゲームなど、時間制も採用しています）。試合はディフェンスチームのスローオフから開始。オフェンスチームは、主にハンドラー（投げ手）とミドル・ディープ（受け手）に分かれ、ディスクをパスしながら敵陣のエンドゾーンを目指します。ディフェンスチームは一人一人をマークするマンツーマンディフェンスや、スペースを守るゾーンディフェンスを駆使し、オフェンスチームの得点を阻止します。オフェンスプレーヤーがディスクを落とす、インターフェイントされる、もしくはフィールドの外にディスクが出てしまった場合はターンオーバー（攻守交代）となり、攻撃権が相手チームに移ります。ディスクは天候（特に風）の影響を受けやすく、風の動きを攻守の戦術に取り入れることが勝利の鍵となります。得点が入る度にお互いの攻める方向を入れ替え、その際に自由にメンバー交代できることもアルティメットの特徴です。

オフェンス

- ・エンドゾーンでキャッチをすると得点（1点）
- ・ディスクを持って、歩いてはいけない（トラベル）
- ・ディフェンスの走路妨害となる動きをしてはいけない（ピック）
- ・ディスクを持ったら10秒以内にパスをする（ストールアウト）

ディフェンス

- ・各ターンの開始時に、スローオフを投げる
- ・ディスクを持っているオフェンスプレーヤーに対して、10秒数える（ストールカウント）
- ・ディスクを持っているオフェンスプレーヤーに対して2人以上でディフェンスをしてはいけない（ダブル・チーム）

SOTG（スピリット・オブ・ザ・ゲーム）

アルティメットは、自己審判制（セルフジャッジ）で試合を行うことが他のスポーツではない、最大の特徴です。身体接触は禁じられており、「スピリット・オブ・ザ・ゲーム」という標語に基づき、フェアかつクリーンなプレーが求められます。「どのような行為が反則（相手に危害を加える）となるかを熟知し、反則をしない」という前提に立ち、選手同士で意見の相違が生じた場合は、当事者同士で話し合い、お互いが納得する結論を自分達で導くことで試合を進行します。

スピリット・オブ・ザ・ゲームという考え方とは、当事者同士で問題を解決することを意図しているため、世界平和の見地からもオリンピック憲章にふさわしい考え方として高く評価されています。



アルティメット用語

・スローオフ

試合開始もしくは得点後のターンの開始時にディフェンスプレーヤーがディスクを敵陣エンドゾーンへ投げ入れることです。このディスクを拾ってオフェンスを開始します。

・ブリックマーク

スローオフがフィールドの外に落ちた場合、オフェンスプレーヤーは、この位置からのオフェンス開始を選択できます。

・ターンオーバー

攻守交代を指します。オフェンスプレーヤーがディスクを落とす、インターフェイントされる、もしくはフィールドの外にディスクが出てしまった場合に、攻撃権が相手チームに移ります。

・タイムアウト

アルティメットでは、試合中にタイムアウトを取得できます。国際標準ルールでは、前後半に各2回ずつ（1回2分）与えられます。

・コール

反則をされた選手あるいは反則をした選手が、その反則名を言うことによって、フィールド内にいる両チームの選手に反則が起こったことを知らせます。

・ピック

ディフェンスプレーヤーが、ディフェンス対象のプレーヤー以外によってディフェンス行為を妨害された場合は、反則を取ることができます。

・ストールカウント

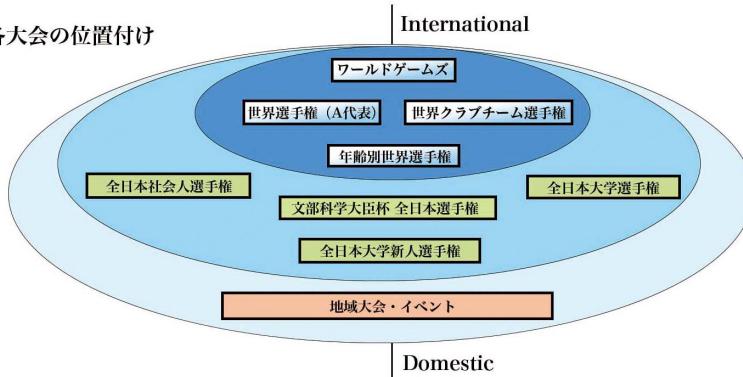
ディスクを持っているオフェンスプレーヤー（スローワー）をマークしているディフェンスプレーヤー（マーカー）が10秒数えます。スローワーは10秒以内にディスクを投げることができなければ、『ストールアウト』という反則になります。

・ダブルチーム

スローワーに対して、2人以上が3m以内でディフェンスすることはできません。スローワーが反則をコールすると、マーカーはカウントを2つ戻してストールカウントを再開します。

全日本選手権 National Championships

各大会の位置付け



日本国内では4大メジャー大会といわれる全国開催のアルティメットの大会を実施しています。大学1・2年生を対象とした全日本新人戦、大学生全般を対象とした全日本大学選手権、社会人クラブチームを対象とした全日本社会人選手権、そして日本全国すべてのチームを対象とした文部科学大臣杯全日本選手権。このメジャー大会での勝利を目指し、チームは各地域大会でレベルアップを図ります。一方で、初心者や愛好者を対象にしたイベントも多数開催。アルティメットを知らない方はまずはまず体験することをお勧めします。楽しく体験できるイベントは全国各地で開催されています。

第38回 文部科学大臣杯 全日本アルティメット選手権大会

日本一を決める最高峰の大会。（2012年参加実績：86チーム 1,542人）

開催部門 オープン部門／ウィメン部門
本戦 2013年10月19日(土)～20日(日) 静岡県富士市 富士川緑地公園
決勝戦 2013年11月3日(日) 東京都江東区 夢の島競技場

第24回 全日本大学アルティメット選手権大会

大学チャンピオンを決める熱戦。（2012年参加実績：94チーム 1,640人）

開催部門 オープン部門／ウィメン部門
東日本予選 2013年8月20日(火)～22日(木) 茨城県ひたちなか市 新光町グラウンド
中部・西日本予選 2013年8月20日(火)～22日(木) 大阪府堺市 J-GREEN堺
本戦 2013年8月31日(土)～9月1日(日) 静岡県富士市 富士川緑地公園
決勝戦 2013年9月8日(日) 大阪府堺市 J-GREEN堺



Local Events 地域大会・イベント

関西

- 4月 アルティメット舞洲リーグ
- 5月～3月 アルティメット舞洲シリーズ
- 5月～2月 京都リーグ
- 5月 西日本フレッシュマンズカップ
- 6月 ディスクサミット
- アルティメット関西オープン
- 7月 但馬アルティメット
- 8月 大学生対象舞洲練習会
- 全日本大学アルティメット選手権大会
- 9月～10月 全日本アルティメット選手権大会
- 10月 ディスクサミット

中国・四国

- 5月 中四国オープン
- 11月 中四国交流大会



九州・沖縄

- 2月 かりゆしクラシック2013 ~ The 8th～
- 3月 九州Ultimate Camp 2013春 in 阿蘇
- 5月 Springビーチアルティメット（福岡）
- 6月 熊本オープン
福岡オープン・ミックス・アルティメット大会
- 7月 九州学生アルティメット大会
- 10月 Yes! RKK SPORTS（熊本）
全国レクリエーション大会・福岡大会
- 11月 九州Ultimate Camp 2013秋 in 阿蘇
- 12月 DS CUP

中部

- 2月 アルティメット東海オープン
- 3月 2013クラブジュニアアルティメットドリームカップ
- 4月 東海オープンアルティメットシリーズ第1戦
- 5月 2013CLUB Jr. Invitational Ultimate Tournament (CJI)
東海ミックスアルティメット大会
- 6月 2013菅平ミックスアルティメット選手権大会
2013ディスクラフトアルティメットオープン (DUO)
東海オープンアルティメットシリーズ第2戦
- 7月 全日本社会人アルティメット選手権大会
2013クラブジュニアアルティメットクリニック中部地区

北海道

- 6月 北海道ジュニアカップ
- 10月 どさんこカップ

東北

- 2月 第1回全国雪上フライングディスク プレ大会
- 3月 2013 Azalea Games
- 4月 新生歓迎ディスクフェスタ2013
- 6月 アルティメット東北リーグ 福島大会
- 7月 アルティメット東北リーグ いわて北上大会
- 9月 アルティメット東北リーグ やまと米沢大会
- 11月 2013クラブジュニアアルティメットクリニック東北地区

関東

- 2月 2013ULTIMATE 関東オープン
Japan Ultimate講習会
- 3月 Japan Ultimate 5on5 2013
- 4月 東日本フレッシュマンズカップ
- 5月 ピーチアルティメットフレンドシップ湘南2013 第14回 EBASHI-CUP
2013クラブジュニアアルティメットクリニック東日本地区
- 6月 東日本ジュニアカップ
- 8月 全日本大学アルティメット選手権大会
- 9月～11月 全日本アルティメット選手権大会

8月 東海オープンアルティメットシリーズ第3戦

全日本大学アルティメット選手権大会

9月～11月 全日本アルティメット選手権大会

10月 2013ATAMIピーチアルティメット

11月 2013 GAIA ULTIMATEカップ

12月 全日本ミックス＆マスターズアルティメット選手権大会

全日本大学新人アルティメット選手権大会

NPO法人日本フライングディスク協会は、世界フライングディスク連盟（WFDF）に加盟しており、WFDFが公認する国際大会へ日本代表を派遣しています。ワールドゲームズを筆頭に、国別対抗の世界選手権、世界強豪クラブチームによる世界クラブチーム世界選手権、年齢別の世界選手権など、毎年世界各国で国際大会が実施されています。日本フライングディスク協会および日本アルティメット協会は、【強いニッポン】をスローガンに、世界で勝負できる日本代表チームの強化活動に力を入れています。

WFDF2012 世界アルティメット&ガッツ選手権大会



2012年7月7日～14日、大阪府堺市のJ-GREEN場にて「WFDF2012世界アルティメット&ガッツ選手権大会」を開催しました。20年ぶりの日本開催となった本大会は、4年に1度開催される世界一を決定する大会であり、5大陸23カ国と地域、競技者1,400名、運営スタッフ250名、来場者数延べ15,000名と過去最大規模となりました。アメリカやカナダなどの強豪国が揃って参加する中、日本代表チームは、ウィメン部門優勝、ミックス部門第3位、オープンマスターズ部門第3位、ウィメンマスターズ部門第3位、オープン部門第5位という結果を残し、世界の中で【強いニッポン】としての地位を確立しつつあります。また、この大会を契機に各種メディアにも幅広く取り上げられ、【誰もが知る競技】への第一歩を踏み出しました。

2013

WFDF2013 世界U-23 アルティメット選手権大会

2013年7月に、カナダ・トロントにて「WFDF2013世界U-23アルティメット選手権大会」が開催されます。イタリア・フィレンツェで開催された前回大会では、日本代表チームがオープン部門、ウィメン部門共に準優勝という結果を残しました。今大会では、オープン・ウィメン・ミックスの3部門、延べ17カ国と地域、38チームの出場が見込まれ、年齢別の大会では最大規模を予定しています。日本代表チームは、3部門ともに選手選考が終了し、総勢82名の若き日本代表選手が日の丸を背負い戦います。【強いニッポン】を世界にアピールすべく、優勝という結果を残し、次世代の中核を担う選手への成長に期待が高まります。

JAPAN
ULTIMATE
NATIONAL TEAM
23

カナダ・トロント
York University

第9回 ワールドゲームズ 2013 カリ大会

フライングディスク競技アルティメットは2001年からはIOCが後援する非オリンピック種目の国際総合競技大会「ワールドゲームズ」の公式種目となりました。ワールドゲームズとは、4年に1度開催される国際的トップアスリートによる総合競技大会であり、オリンピック同様に世界トップレベルの真剣勝負が繰り広げられます。本年は7月25日～8月4日にかけて、コロンビア・カリにて「第9回ワールドゲームズ 2013」が開催されます。アルティメットは「WFDF2012世界アルティメット&ガッツ選手権大会」の国別総合成績の上位5チーム（日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス）と開催国であるコロンビアの6チームによって7月28日～30日の3日間、ミックス（男女混合）部門形式にて実施されます。日本は2009年の台湾・高雄大会では準優勝と惜敗。今年は過去にない厳しい選考を繰り返し、トップレベルの13名を派遣します。日本が得意とするスピードをイメージした「疾風(はやて)JAPAN」という愛称の元、日本中の期待を一手に背負い、優勝だけを狙います。

The World Games
2013 CALI
Fair Play To The Planet
コロンビア・カリ
Pascual Guerrero
Olympic Stadium

疾風
JAPAN ULTIMATE

JAPAN ULTIMATE

日本アルティメット協会

日本アルティメット協会 会長挨拶



日本アルティメット協会は、【強いニッポン】、【誰もが知る競技に普及する】を目標に活動していきます。

2012年7月に大阪府堺市で開催された世界大会では、23ヶ国と地域、1,400名の参加がありました。ウィメン部門日本代表の優勝が、多くのメディアやマスコミに取り上げられただけでなく、ミックス部門、オープンマスターーズ部門、ウィメンマスターーズ部門の3部門で銅メダルを獲得するなど、日本の実力は世界の中でもトップレベルにあります。また同年、中学校の新学習指導要領に採用されるなど、体育教育の現場でも高い評価を得ております。いまでは毎週のように日本のどこかで大会が開催されるまで成長しています。

ディスクさえあれば、場所を選ばず、初心者でもゲームを楽しめるこの競技を日本中に広め、一人でも多くの人を笑顔にしたいと思います。私のアルティメット人生も今年で33年目のシーズンを迎えます。みなさんとどこかのフィールドでお会いできる日を楽しみにしています。

日本アルティメット協会 会長 本田雅一

協会概要



日本アルティメット協会（Japan Ultimate）は特定非営利活動法人日本フライングディスク協会（Japan Flying Disc Association）の下部組織として、アルティメットの総合的な普及振興および競技会運営、日本代表の強化を行う専門団体として2011年に発足しました。

日本フライングディスク協会は1975年に発足して以来、世界フライングディスク連盟、日本アンチ・ドーピング機構、日本ワールドゲームズ協会、日本レクリエーション協会に加盟しており、アルティメットに関しては日本アルティメット協会を支援し、世界フライングディスク連盟公認の世界大会への日本代表およびクラブチーム派遣、ワールドゲームズへの日本代表派遣、また代表選手のみならず、競技者全員に対してドーピング防止活動を推進しています。

日本協会では、特に情報発信に関する事務局機能を向上させるとともに、理事会によるガバナンス運営に基づいた各専門委員会を設置。組織としてのビジョンを明確に持つことで日本全国において効果的な普及促進を行うべく、メジャースポーツ化に必須となる【強い組織】を実現する新組織体制を2013年に構築しました。

アルティメットが多くに人に親しまれるスポーツとして、日本代表が勝つスポーツとして、多くのファンに魅せるスポーツとして成長できるよう事業を推進してまいります。

ソーシャルメディア

日本アルティメット協会では、ウェブサイトおよびソーシャルメディアを活用した情報発信を行っています。大会の情報から日本代表情報、アルティメットに関するニュースなど全国におけるアルティメットの時事情報を配信しています。

Youtubeでは大会のハイライト動画や試合映像、ルール動画など、アルティメットをどこでも楽しめるコンテンツを配信しています。

JAPAN ULTIMATE



発行元

NPO法人日本フライングディスク協会 内
日本アルティメット協会

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩4-20-24

TEL: 03-5678-5125

FAX: 03-5678-5126

Email: info@japanultimate.jp

Website: http://www.japanultimate.jp/

